

1. イエス様がこの世に来られたことを私たちはどのように考えますか。イエス様は良い子にごほうびをくださるサンタクロースのような方でしょうか。それとも、罪人を救うための救い主でしょうか。

もうすぐクリスマス！何を思い浮かべますか？ クリスマスツリー、いろいろな飾り、ケンタッキーフライドチキン、それともサンタクロースでしょうか？

『サンタが町にやって来る』という曲を聞いたことがありますか。

「サンタクロースはリストを作成して、2回もチェックして、

どの子が悪い子か良い子かチェックしているよ。

君が寝ている時も見ているよ。君がいつ起きるのかも知っているよ。

悪い子だったか良い子だったかも知っているよ。

だから、お願いだから良い子にしているよ。」

サンタクロースからの良いお知らせは次の通り：

サンタは北極から私たちの世界にやって来て、善良で立派なお行儀のよい、その贈り物を受け取るのにふさわしい子供たちにプレゼントを贈ります。

私たちがイエス様をサンタクロースのような方だと考えて、サンタクロースの素敵なリストに載っている立派な子どもたちのようだと自分たちのことを考えたいくなるかもしれません。

パウロの時代にもそのように考える人たちがいたようです。パウロはそのためにテモテに対して手紙を書きました。（Iテモテ1：1～17）

「私は、私を強くしてくださる、私たちの主キリスト・イエスに感謝しています。キリストは私を忠実な者と認めて、この務めに任命してくださったからです。私は以前には、神を冒瀆する者、迫害する者、暴力をふるう者でした。しかし、信じていないときに知らないでしたことなので、あわれみを受けました。私たちの主の恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに満ちあふれました。

『キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた』ということばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。

しかし、私はあわれみを受けました。それは、キリスト・イエスがこの上ない寛容をまず私に示し、私を、ご自分を信じて永遠のいのちを得ることになる人々の先例にするためでした。

どうか、代々の王、すなわち、朽ちることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄光が世々限りなくありますように。アーメン」

Iテモテ1：12～17

2. イエス様はこの世に来られた...

イエス様は以前どこにおられたのですか？

*ヨハネ1：1～2 「神とともに」

*ヨハネ17：5，24 「父なる神と共に持っていた栄光」

*ピリピ2：6～8「キリストは神の御姿であられるのに..... ご自分を空しくして、人間と同じようになられました」

以上のみ言葉はイエス様について何を語っているのでしょうか？彼の愛についてでしょうか？
一体誰が、その栄光に輝く全能の名誉ある地位に就いておられるのに、ご自分の権利と名誉と地位を投げ捨てて、自分がおつくりになった人々に仕える者としてこの世にやって来られるのはなぜですか。

力と名誉に恵まれ、快適な立場にある支配者がそんなことを他の人のためにするのでしょうか。力と快適さと名誉にめぐまれた人が喜んで人間以下の動物や虫やもっと劣る生き物になることなどあるのでしょうか。ヨハネ3章16節 {神は実にそのひとり子をお与えになったほどに世を愛された} 主よ、私たちがあなたの愛の信じられないほどの深さを理解できるように助けてください。そして、私たちがふさわしく応答できるように助けて下さい。

3. なぜイエス様はこの世に来て下さったのですか???

イエス様が私たちを愛して下さること、そして私たちが良い子だとわかって、それから次のクリスマスまでイエス様は再び天の北極まで行くんだということを理解できるようにちょっと抱擁して、一瞬の間、私たちの近くに来て下さったようなものですか。

私たちと共にいてそのご愛をお示しになることは間違いなくその一部でしたが、イエス様が来られて成し遂げようとされた他の目的があったのです。すべての人々に対するイエス様の愛がそのようにさせたのです。「罪人を救うために...」イエス様はこのために来られました。

I テモテや他の箇所パウロは、神の前に自らを正しい者とし、自分たちがなりたがっている高潔な人物となるために、神の旧約の律法の良き守護者を任じているグループに語りかけています。しかし、神から遠く離れている限り人はこれらの律法の命令を守ることは出来ません。結局のところ、律法に従っているつもりのパリサイ人は、安息日を厳密に守り通すことによって律法を守りましたが、その一方で神の御子を死に至らしめたのです。加えて、イエス様の兄弟ヤコブは信者に次のことを思い起こさせています。旧約の律法全体を守った最もすぐれた人でも、そのうちのたった一つでも律法を破る者は神の律法の違反者として罪に定められるというのです。パウロはこのような人々に自分たちが自分の力で何ができるかではなく、キリストが彼らのために何をして下さったかに信頼を置くべきだと語っています。

今日、多くの人々は自分たちが神と向き合い、自分たちの人生の申し開きをするとき、イエス様は彼らが出来得る最善のことをやったとか、良い人であったということで受け入れて下さるだろうと考えているのです。彼らは完全ではなかったかもしれないが、少なくともそんなに悪くはなかったと言うふうな。(私たちは本当には罪人だったわけではない。その言葉は私たちが好まない本当に悪い人々のためにだけとってあるのだ)

私たちの世界の多くの人々は、キリストが彼らのためになして下さったことから離れて、自分自身や自分の善良さに希望を置いているのです。; 彼らの心の内にイエス様は来られなかったのかもしれない

せん。彼らはイエス様なしでクリスマスを祝うことが出来るのです。；彼らには自分たちのような善良な人々にふさわしい良きものをごほうびとして与えて下さるサンタさんがいるのです。

しかし、パウロは私たちが何らかの助けを必要としていることを指摘しています。それこそイエス様が来られた理由です。パウロは自分の過去の罪を後悔したり絶望して打ちのめされたりせず、赦されたという感情にひたる一方で、イエス様に敵対していた個人的な歴史を語り、イエス様がパウロのような罪人にどれほどあわれみ深く慈悲深く良きお方であるかを描写しています。(彼はイエス様に敵対していたがゆえに自分を罪人のかしらと呼んでいます、彼は一方では道徳的な清さ、律法を守ることと良き行いにおいて私たちの誰よりも優れた経歴を持っていたのです) イエス様はパウロのような罪人、すなわち、神と神の良き命令、知恵や意図に逆らって考えたり、話したり、行動した人々を救うために来られたのです。それはあなたと私も含めていつの時代であってもすべての人がそうだったのです。イエス様が救いの為に来られたことに感謝します。

4. しかし、救いとは何を意味するのでしょうか？

ギリシャ語の「sozo」—解放する、救出する、癒す

罪の赦しとイエス様が一度、すべての人のために死んで、信じるすべての人のために成し遂げて下さった神との正しい立ち位置。復活を通してイエス様は、罪赦された罪人たちに、将来イエス様と共に生きる永遠のいのちの贈り物として、死からの救いの保証を与えておられます。そして、イエス様は罪人たちを罪の生活から、すなわち結果的に死をもたらし、神に対して敵対して生きる生き方から、解放して下さるのです。イエス様は人々を古い生き方から救い出し、人々が神に従い、神を愛し、神と調和して善を成すことができるようにして下さるのです。

パウロの例：キリストの憐れみと信仰と愛はパウロを赦しただけではなく、彼を完全に神への冒涇者から神を宣べ伝え、神に栄光を帰する者へと造り変えてくださいました。イエス様は彼を暴力をふるう者から、キリストを知らせるために暴力をも死をも耐え忍ぶ者に変えられました。イエス様はパウロをクリスチャンを迫害する者から教会のもっとも偉大な宣教師に変えました。

5. そして神はどのようにお救いになるのか？

イエス様はこの世界に、人となって神の恵みと慈しみの贈り物として来て下さいました。イエス様は私たちの罪の為に十字架にかかられたのです。そして、それらすべてに加えて、全ての人類への愛ゆえにイエス様は誠実と愛の贈り物をお与えになるのです。

イエス様を信じないでその代わりにイエス様に反対した人々たちに対しての誠実さ。そして、他者に対して愛がなく、暴力的で、悪意のある人々に対しても、イエス様は愛の贈り物をお与えになり、神を愛する力を与え、そして私たちがかつて敵と呼んだ人々に対して誠実さを示されました。イエス様はパウロにもそうして下さったのです。イエス様は誰に対してもそれがお出来になるのです。あなた或いはあなたが知っているどなたか、このクリスマスにイエス様の贈り物を受け取りたいとは思いませんか。すでに受け取られましたか。もし受け取られたなら、神をほめたたえ喜びましょう！

6. 誰が救われるのでしょうか。

良いお知らせです；イエス様の贈り物はパウロに対してだけではありません。イエス様はイエス様を信じるすべての人に救いを与え、あわれみと愛と信仰をお与えになりました。

I テモテ 2：3～4 でパウロはこう書いています。「私たちの救い主である主の御前において良い事であり、喜ばれることです。神はすべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。」また、1 章 16 節のみ言葉はパウロの人生は、永遠のいのちを求めてイエス様を信じる人々をお救いになる神の無限の力と愛と恵みの見本だということを思い起こさせてくれます。「もし神が、パウロのように神に敵対する者を救うことがお出来になるのなら、神は誰でも救うことが出来るのです！

7. 私たちの応答：

もしあなたがイエス様を信じないで、頼ることをせず、イエス様に赦しを求めず、神に逆らう罪深い生活、すなわち、あなたと世界のために計画されたイエス様の意図に逆らう生活から救ってほしいと求めているなら... イエス様こそ救い主だと、あなたの救い主だと信じなさい。イエス様を求めることを始めなさい、イエス様の方法を学びなさい。イエス様を愛する事によってイエス様の愛に応えなさい。

特に、もし、あなたがイエス様をすでに信じて、今も信じているなら、神があなたに与えて下さった新しい生き方をもってあなたの救い主であられ王であられる方に誉れと栄光を帰しなさい。（言葉と行いと目標や計画、努力においてもイエス様に重きを置き誉れを捧げなさい）

最後に、パウロは信頼と受容に値するもう一つの声明を出しています（I テモテ 4：7～10）イエス様を信じる者は未来に確信が持てます。イエス様があなたを罪から救い出してくださって以来、あなたの内に働いておられる聖霊はあなたを救ってくださったお方に似るように働いて下さっているのです。イエス様に喜んでいただけることをしつつ、あなたが生きるようにと救いに導いて下さった人生をしっかりと自分のものとしましょう。（それを裏打ちする話を今月、教会員の方から聞きました。信仰を言葉と行いによって示していくことが他の人々にイエス様の福音をもたらす結果となり、彼らも変えられていったということです。それをやり続けましょう！）